

学校評価に寄せられた意見並びに改善の方策

(1)学校行事について

・行事自体は一日のことなので、問題はない。しかし、準備に時間がとられ、たとえば教科書が終わらないなど、通常授業に影響が出るのではないか。地域の体育祭に参加することで、回数を減らすことも可能である。また、文化祭と体育祭を隔年で実施することも検討してはどうか。

○平成31年度に関したは、体育祭は学部行事として行い、規模の縮小化を図ることになっている。次年度以降は、31年度の様子を踏まえて検討していく。

(2)自己評価に関して

・当事者である教員がE「わからない」と答えるのは不思議な感じがする。

○次年度より、E「わからない」は設けないこととする。

(3)施設に関して

・トイレ・エアコン・寄宿舍(北寮)改善を望む。

○幼児・児童・生徒の学習活動や健康面に配慮して対策を講じている。引き続き取り組んでいく。

(4)防災教育に関して

・本校防災担当者が、クロスロード研修(災害対応ジレンマをカードゲーム化したもの)において、学校での実施を打診していた。実現してほしい。

○防災については、担当者を中心に角度を変えて点検をしている。

(5)進路に関して

- ・福祉関係者として、学校を理解するための啓蒙活動が必要だと感じている。
- ・本人と保護者が積極的に動く。行政は当事者の意見に一番反応する。

- ・学校評議員に、ハローワーク等の労働関係の職員を入れると企業等に情報を発信してもらえると思う。

○障害者の中でも視覚障害者の受け入れは、特に力を入れて取り組んでいかなければならないと考えている。PTAとも連携して、いただいた意見も取り入れて、啓発や開拓を進める。